

スツとわかる伊丹の未来

## 次世代への投資

まちの未来を担う子どもたちの無限の可能性を伸ばす

### 子どもの習い事応援事業をスタート

多様な体験や学びの機会を創出・確保

小中学校の給食費を完全無償化

中学校部活動の地域展開を推進

## 安全・安心なまち

生命と暮らしを守り抜く揺るぎない基盤

### 統合新病院整備事業を推進

令和9年度中の統合新病院の開院を目指す

## ブランド・魅力発信

伊丹市の「魅力」と「住みやすさ」をブランドとして言語化

### ブランド戦略を策定

まちの魅力や資源を市内外に効率的に届ける戦略を策定

スツと知る、スツとつながる



令和8年度  
施政方針



令和8年度  
予算



シティプロモーション  
サイト

【発行】伊丹市総合政策部政策室  
本リーフレットは5,000部作成し、印刷経費は1部あたり約11.0円です。

8総政215-2-004A4

## 誇りあるまちを、次の世代へ ～令和8年度の挑戦～



伊丹市長 中田慎也

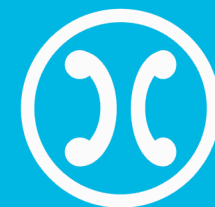
昨年4月、伊丹市長に就任し、市内各所で行われている地域活動等に参加させていただき、多くの市民のみなさまと対話を重ねてまいりました。そこでお聞きした、このまちをもっと良くしたい、次の世代に素晴らしいまちを引き継ぎたい、そんなみなさまの純粋な想いとまちへの愛着を胸に刻み、誇りあるまちを次の世代へつないでいくため、全力で市政運営を進めてまいります。

令和8年度は、未来を担う人材への投資を一層進めるとともに、暮らしの基盤である安全・安心をさらに強固なものとし、伊丹の魅力と価値を戦略的に発信してまいります。伊丹が将来にわたり「選ばれるまち」であり続けるため、市民のみなさま一人ひとりが「伊丹で子育てをしたい、住みたい、住み続けたい」と心から実感できるまちの実現に向け、全力で取り組んでまいります。

# いたみなう

2026

伊丹市の取り組みがスツとわかる



伊丹市

itami

1

## あんぜん 安全・安心

物資備蓄事業 ~発災直後からの衛生環境を確保~

- ・学校等にLED投光器を配備
- ・組立式仮設トイレ  
携帯トイレキットの備蓄を充実



2

## そだち 育ち・学び・共生社会

子どもの習い事応援事業

就学援助を受給している市内小学生の保護者を対象に  
習い事に必要な費用を助成(上限8,000円/月)

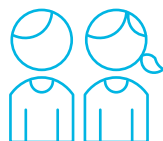
小中学校全学年の給食費を完全無償化

TOYOTIRES伊丹スポーツセンター整備事業

- ・陸上競技場のトラックを全天候型に、フィールドを人工芝にするための実施設計
- ・テニスコートの人工芝張替え、照明のLED化
- ・新たにバスケットゴールを整備

中学校部活動の地域展開推進事業

- ・日没以降の活動環境のため、屋外照明設備を整備
- ・移動時の安全確保のため、自転車用ヘルメットの購入費助成(上限4,000円)
- ・就学援助を受給している世帯への会費支援(上限5,000円/月)
- ・登録地域クラブ立ち上げ時のスタートアップ支援
- ・研修や相談体制の整備



3

## けんこう 健康・医療・福祉

市立伊丹病院統合再編整備事業 ~令和9年度後半の開院に向けて~

- ・医療体制の充実に向け「腎臓内科」を新たに設置
- ・整備工事を着実に実施し、医療機器を選定
- ・近畿中央病院と市立伊丹病院間を結ぶ  
無料の直通シャトルバスを運行(令和8年4月から2年間)



4

## にぎわい 市民力・にぎわい・活力

都市ブランド推進事業 ~まちの未来をデザイン~

- ・愛されるまちのブランドの確立に向けた戦略を策定
- ・専門人材を活用し職員の広報力向上

清酒発祥の地PR事業

来訪者の増加に向け、清酒関連施設でのガイドツアーやSNSの活用等により「清酒発祥の地 伊丹」や「日本遺産」のPRを強化



5

## まちづくり 環境・都市基盤

ボール遊びを楽しめる公園の環境整備

- ・市立野球場、古池運動広場、稲野公園運動施設の運動広場を一時開放
- ・テニスの壁打ちコートを開放(TOYOTIRES伊丹スポーツセンター)
- ・公園でのボール遊びのルール作り



6

## きょうどう 参画と協働・行政経営

ヒューマンリソース戦略推進事業 ~市民サービスの維持・向上~

- ・安定した行政サービスの提供を支える人材確保に向けて、職員採用特設ウェブサイトを開設
- ・より働きやすい市役所を目指して、職員エンゲージメントを推進

